

本校生徒が、南日本新聞「若い目」に掲載されましたので紹介します。

## ひろば 若い目特集

私は私一人一人違って当たり前

薩摩中央高2年

小川 慈英

私は初対面の人に、いつも同じ質問をされる。

「どこのハーフ?」。茶色の髪、茶色の目、真っ白い肌。目立ちたくなくとも目立ってしまう。

正直に言っと、居心地は良くない。小学生の頃はコンプレックスでしかなかった。「いじめに遭うかも」と不安に思っていた。好奇の目で聞かれるいつもの質問に答える

私も嫌で、誰とも話さない方が楽だと考えた日もあった。私の不安に反して、これまでいじめられたことはない。それはとても幸運だったし、周りの友達や環境に感謝している。ありのままを認めてくれる友達のおかげで、私のコンプレックスは今、半分くらい「自信」に変わってきている。「私は私」。そう思える。

外見に悩み苦しむ人は

多い。外見を「いじる」のではなく、仲良くなるための、理解するための接点として質問してくれらるのほうれしい。外見も中身も、一人一人違うところが当たり前。そう思う考えが、早く世の中の「当たり前」になってほしい。  
(さつま町)